

試験報告書

令和 6 年 4 月 2 日

(株)ケイナン 金持工場 殿

先に御依頼のありました試験が
終了致しましたのでご報告申し上げます。

全国生コンクリート工業組合連合会
認定試験場第16号

新見生コン 協同組合 技術センター

〒718-0005 岡山県新見市上市8番地1
TEL (0867) 72-8500
FAX (0867) 72-8180
E-mail ashin@zennama.or.jp
ycmwwk528@ybb.ne.jp

【全国生コンクリート工業組合連合会指定試験項目】

製品試験	1 圧縮強度及び曲げ強度	材料受入 管理試験	骨材試験	10 すりへり減量
	2 スランプ		1 ふるい分け	11 安定性
	3 空気量		2 粒形判定実積率	
	4 軽量コンクリートの単位容積質量		3 密度・吸水率	水質試験
	5 塩化物含有量		4 有機不純物	1 懸濁物質の量
設備管理 試験	1 静荷重検定	5 粘土塊量	2 溶解性蒸発残留物の量	
	2 ミキサ練り混ぜ性能	6 微粒分量	3 塩化物イオン(Cl ⁻)量	
	3 トラックアジータ性能	7 密度1.95の液体に浮くもの	4 セメントの凝結時間の差	
	4 塩化物含有量測定器の検定	8 単位容積質量	5 モルタルの圧縮強さの比	
	5 ゴム硬度計の検定	9 塩化物量試験		

【全国生コンクリート工業組合連合会指定試験項目】

新技セ(試) G 240043 号

骨材試験報告書

令和 6 年 4 月 2 日

鳥取県日野郡日野町金持 1 5 8 3 番地

(株) ケイナン 金持工場

殿


 全国生コンクリート工業組合連合会認定試験場第16号
 新見生コン協同組合 **技術センター**
 センター長 川本 太 問
 岡山県新見市上市 8 番地 1
 TEL 0867-72-8500
 FAX 0867-72-8180
 E-mail ashin@zennama.or.jp

御依頼の骨材試験結果は下記の通りです。

	試験方法	細 骨 材		試験方法	粗 骨 材	
種 類					1505A	
産 地					日野郡日野町	
粗 粒 率	JIS A 1102			JIS A 1102	6.53	
微 粒 分 量 (%)	JIS A 1103			JIS A 1103	0.8	
単位容積質量 (kg/L)	JIS A 1104			JIS A 1104	1.62	
実 積 率 (%)	JIS A 1104			JIS A 1104	60.4	
粒形判定実積率 (%)	JIS A 1104 JIS A 5005			JIS A 1104 JIS A 5005	60.8	
有 機 不 純 物	JIS A 1105					
表 乾 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1109			JIS A 1110	2.69	
絶 乾 密 度 (g/cm ³)	JIS A 1109			JIS A 1110	2.68	
吸 水 率 (%)	JIS A 1109			JIS A 1110	0.53	
安 定 性 (%)	JIS A 1122			JIS A 1122	3.6	
粘 土 塊 量 (%)	JIS A 1137			JIS A 1137	0.06	
密度1.95に浮く粒子 (%)	ZKT 114			ZKT 114		
塩 化 物 (%)	JIS A 5308 A.10p					
すりへり減量 (%)				JIS A 1121	11.4	

備 考 ※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。
 ※試験項目及び試験内容は依頼者の申し込みによる。
 ※無断で複製することを禁止します。

試験方法	JIS A 1103	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技七試験規格	B-2	粗骨材の微粒分量試験			
				新技七(試) G 240043 号	
試験年月日		令和 6 年 3 月 26 日		令和 年 月 日	
試料	種類	1505A			
	産地	日野郡日野町			
	採取年月日	令和 6 年 2 月 6 日		令和 年 月 日	
	採取場所				
試験回数		1	2	1	2
容器の質量	(g)	①	235.6	236.4	
容器と洗う前の試料の乾燥質量	(g)	②	1821.5	1797.5	
洗う前の試料の乾燥質量	②-① (g)	m ₁	1585.9	1561.1	
容器と洗った後の試料の乾燥質量	(g)	③	1808.6	1784.3	
洗った後の試料の乾燥質量	③-① (g)	m ₂	1573.0	1547.9	
微粒分量(*)	(%)	A	0.8	0.8	
2回の試験の平均値		(%)	0.8		
平均値からの差(0.3%以下)		(%)	0.0		
備 考					
注(*) $A = \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$					
<p>※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。</p> <p>※試料内容は依頼者の申し込みによる。</p>					
試験者	岩佐 龍治				



試験方法		JIS A 1104	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】				
技セ試験規格		B-3	粗骨材の単位容積質量及び実積率試験				
試験年月日			令和 6年 3月27日		令和 年 月 日		
試料	種類	1505A					
	産地	日野郡日野町					
	採取年月日	令和 6年 2月 6日		令和 年 月 日			
	採取場所						
試験条件	試料の状態	絶乾					
	試料の詰め方	突き棒					
試験回数			1	2	1	2	
単 位 容 積 質 量	容器の質量 (kg)	①	4.319	4.319			
	容器とガラスの質量 (kg)	②	5.621	5.621			
	容器とガラスと水の質量 (kg)	③	15.593	15.593			
	容器の容積 (l)	V	9.958	9.958			
	容器と容器中の試料の質量 (kg)	④	20.406	20.485			
	容器中の試料の質量 ④-① (kg)	m ₁	16.087	16.166			
	バットの質量 (kg)	⑤					
	バットと含水率測定のための試料の乾燥前の質量 (kg)	⑥					
	含水率測定のための試料の乾燥前の質量 ⑥-⑤ (kg)	m ₂					
	バットと含水率測定のための試料の乾燥後の質量 (kg)	⑦					
	含水率測定のための試料の乾燥後の質量 ⑦-⑤ (kg)	m _{ad}					
	単位容積質量の試験値 (kg/l)			1.62	1.62		
	2回の試験の平均値 (kg/l)	T		1.62			
平均値との差 (0.01kg/l以下) (kg/l)			0.00				
実 積 率	試料の絶乾密度 (kg/l)	d _b	2.68				
	実積率の試験値 $\frac{T}{d_b} \times 100$ (%)		60.4	60.4			
	2回の試験の平均値 (%)	G	60.4				
備 考	<p>・絶乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行わない場合は、次の式による。</p> $T = \frac{m_1}{V}$ <p>・気乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行った場合は、次の式による。</p> $T = \frac{m_1}{V} \times \frac{m_b}{m_2}$						
	<p>※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。</p>						
試験者	岩佐 龍治						

試験責任者：谷岡 貴寿



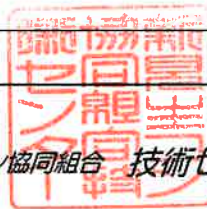
試験方法		JIS A 1104 JIS A 5005	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】				
技セ試験規格		B-4	粗骨材の粒形判定実積率試験				
試験年月日							令和 6年 3月 27日
試料	種類	1505A					
	産地	日野郡日野町					
	採取年月日	令和 6年 2月 6日		令和 年 月 日			
	採取場所						
試験条件	試料の状態	絶乾					
	試料の詰め方	突き棒					
試験回数			1	2	1	2	
単位容積質量	容器の質量 (kg)	①	4.319	4.319			
	容器とガラスの質量 (kg)	②	5.621	5.621			
	容器とガラスと水の質量 (kg)	③	15.593	15.593			
	容器の容積 (L)	V	9.958	9.958			
	容器と容器中の試料の質量 (kg)	④	20.509	20.594			
	容器中の試料質量 ④-① (kg)	m ₁	16.190	16.275			
	バットの質量 (kg)	⑤					
	バットと含水率測定のための試料の乾燥前の質量 (kg)	⑥					
	含水率測定のための試料の乾燥前の質量⑥-⑤ (kg)	m ₂					
	バットと含水率測定のための試料の乾燥後の質量 (kg)	⑦					
	含水率測定のための試料の乾燥後の質量⑦-⑤ (kg)	m _D					
	単位容積質量の試験値 (kg/L)			1.63	1.63		
	2回の試験の平均値 (kg/L)	T		1.63			
平均値との差 (0.01kg/l以下)(kg/L)			0.00				
粒形判定実積率	試料の絶乾密度 (kg/L)	d _D	2.68				
	粒形判定実積率 $\frac{T}{dD} \times 100$ (%)	G	60.8				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・絶乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行わない場合は、次の式による。 $T = \frac{m_1}{V}$ ・気乾状態の試料を用いる場合又は含水率の測定を行った場合は、次の式による。 $T = \frac{m_1}{V} \times \frac{m_D}{m_2}$ 						
	※ 試料は依頼者サンプリングの持込による。 ※ 試料内容は依頼者の申し込みによる。 (碎石1505を50%碎石2010を50%で混合した試料を使用し碎石2005として試験を行う。)						
試験者	岩佐 龍治						

試験責任者：谷岡 貴寿

試験方法		JIS A 1110		【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技セ試験規格		B-7		粗骨材中の密度及び吸水率試験			
				令和 6 年 3 月 26 日		令和 年 月 日	
試料	種類	1505A					
	産地	日野郡日野町					
	採取年月日	令和 6 年 2 月 6 日				令和 年 月 日	
	採取場所						
試験回数				1	2	1	2
表面乾密度	容器の質量 (g)	①	252.1	251.7			
	容器と表面乾燥飽水状態における試料の質量 (g)	②	1840.8	1826.4			
	表面乾燥飽水状態における試料の質量 ②-① (g)	m ₁	1588.7	1574.7			
	試料と金網かごの水中の見掛けの質量 (g)	m ₂	1386.3	1377.1			
	金網かごの水中の見掛けの質量 (g)	m ₃	386.7	386.7			
	試験で用いた水の温度 (°C)	-	18.0	18.0			
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ _w	0.9986	0.9986			
	表乾密度 $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - m_2 + m_3}$ (g/cm ³)	D _s	2.69	2.69			
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)		2.69				
	平均値からの差(0.01g/cm ³ 以下) (g/cm ³)		0.00				
絶対乾密度	容器の質量 (g)	③	252.1	251.7			
	容器と絶対乾燥状態の試料の質量 (g)	④	1832.3	1818.3			
	絶対乾燥状態における試料の質量 ④-③ (g)	m ₄	1580.2	1566.6			
	絶対乾密度 $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - m_2 + m_3}$ (g/cm ³)	D _d	2.68	2.68			
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)		2.68				
	平均値からの差(0.01g/cm ³ 以下) (g/cm ³)		0.00				
吸水率	吸水率 $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	0.54	0.52			
	2回の試験の平均値 (%)		0.53				
	平均値からの差(0.03%以下) (%)		0.01				
備考	※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。						
試験者	岩佐 龍治						



試験方法		JIS A 1122		【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技セ試験規格		B-8		硫酸ナトリウムによる粗骨材の安定性試験			
試験年月日		試料	種類	1505A	採取年月日	令和6年2月6日	
令和6年4月2日			産地	日野郡日野町	採取場所	新技セ(試) G240043号	
通るふるい	とどまるふるい	各群の質量 g	各群の質量分率 %	試験前の各群 の質量 (m ₁) g	試験後の各群 の質量 (m ₂) g	各群の損失 質量分率 ⁽¹⁾ (P ₁) %	骨材の損失 質量分率 ⁽²⁾ %
10 mm	5 mm	2902	42	308	294	4.5	1.9
15 mm	10 mm	3620	53	503	493	2.0	1.1
20 mm	15 mm	310	5	759	672	11.5	0.6
25 mm	20 mm	0	0	—	—	—	—
40 mm	25 mm						
合計		6832	100	—	—	—	3.6
<p>備考 注⁽¹⁾ $P_1 = (1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$</p> <p>注⁽²⁾ 骨材の損失質量分率 = $\frac{\text{各群の質量分率} \times \text{各群の損失質量分率}}{100}$</p> <p>※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。</p>							
試験年月日		試料	種類		採取年月日	令和 年 月 日	
令和 年 月 日			産地		採取場所		
通るふるい	とどまるふるい	各群の質量 g	各群の質量分率 %	試験前の各群 の質量 (m ₁) g	試験後の各群 の質量 (m ₂) g	各群の損失 質量分率 ⁽¹⁾ (P ₁) %	骨材の損失 質量分率 ⁽²⁾ %
10 mm	5 mm						
15 mm	10 mm						
20 mm	15 mm						
25 mm	20 mm						
40 mm	25 mm						
合計							
<p>備考 注⁽¹⁾ $P_1 = (1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$</p> <p>注⁽²⁾ 骨材の損失質量分率 = $\frac{\text{各群の質量分率} \times \text{各群の損失質量分率}}{100}$</p>							
試験者	岩佐 龍治						

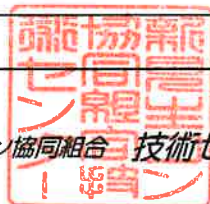


試験方法		JIS A 1137		【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】		
技セ試験規格		B-9		粗骨材中に含まれる粘土塊量試験		
						新技セ(試) G 240043 号
試験年月日			令和 6 年 3 月 29 日		令和 年 月 日	
試料	種類	1505A				
	産地	日野郡日野町				
	採取年月日	令和 6 年 2 月 6 日		令和 年 月 日		
	採取場所					
容器の質量		(g) ①	881			
容器と試験前の試料の乾燥質量		(g) ②	2423			
試験前の試料の乾燥質量		②-① (g) m _{D1}	1542			
容器と試験後の試料の乾燥質量		(g) ③	2422			
試験後の試料の乾燥質量		③-① (g) m _{D2}	1541			
粘土塊量		$\frac{m_{D1}-m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%) C	0.06			
備考						
<p>※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。</p> <p>※試料内容は依頼者の申し込みによる。</p> <p>※試料は、JIS A 1103 による洗いの操作を行ったものを用いる。</p>						
試験者	岩佐 龍治					



試験方法		JIS A 1121		【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技セ試験規格		B-13		ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験			
試験年月日		令和6年3月28日		新技セ(試) G240043号			
試料	種類	1505A					
	産地	日野郡日野町					
	採取年月日	令和6年2月6日		令和 年 月 日			
	採取場所						
試験条件	粒度区分	C					
	球の数	8					
	球の質量(g)	3328					
	回転数	500					
通るふるいの公称目開き(mm)	とどまるふるいの公称目開き(mm)	ふるい分けた各群の質量(g)	各群の質量百分率(%)	試験前の試料の質量[m ₁](g)	ふるい分けた各群の質量(g)	各群の質量百分率(%)	試験前の試料の質量[m ₁](g)
80	60						
60	50						
50	40						
40	25						
25	20	0	0	—			
20	15	180	5	—			
15	10	1902	52	2505			
10	5	1534	42	2507			
5	2.5	34	1	—			
合計		3650	100	5012			
試験結果の計算	試験後の試料の質量 ⁽¹⁾ (g)	m ₂	4443				
	すりへり減量 ⁽²⁾ (%)	R	11.4				
備考							
注 ⁽¹⁾ 試験後、1.7mmの網ふるいに残った試料の質量							
$^{(2)} R = \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$							
※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。							
※試料内容は依頼者の申し込みによる。							
試験者	岩佐 龍治						

試験責任者：谷岡 貴寿

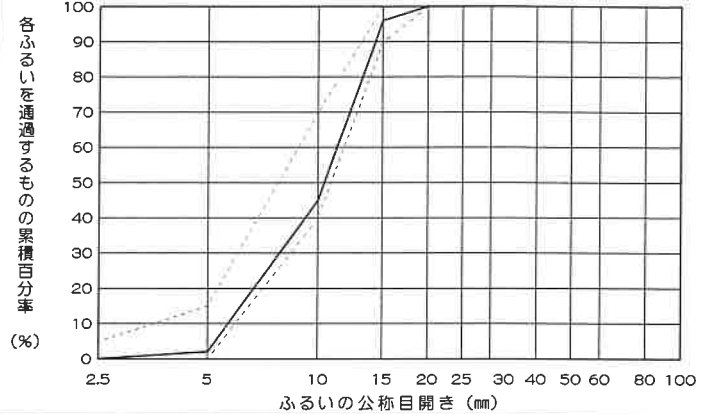


試験方法	JIS A 1102	【全国生コンクリート工業組合連合会認定項目】			
技セ試験規格	B-1	粗骨材のふるい分け試験			
試験年月日		種類	1505A	採取年月日	令和 6 年 2 月 6 日
令和 6 年 3 月 27 日		産地	日野郡日野町	採取場所	

新技セ(試) G240043 号

ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の試料の質量(g)	3121		
ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)	
50					
40					
30					
25					
20	0	0	0	100	
15	126	4	4	96	
10	1586	51	55	45	
5	1344	43	98	2	
2.5	63	2	100	0	
受皿	2	0	100	0	
合計	3121	100			

粒度曲線図

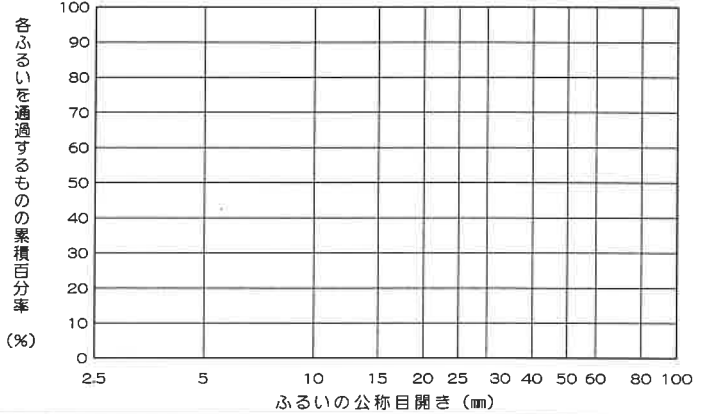


備考 ・粒度範囲は、JIS A 5005による。
 ・試料は、微粒分量試験後の呼び寸法0.075mmに留まったものを使用。

試験前後の質量差(%)	0.00	粗粒率	6.53
試験年月日	令和 年 月 日	種類	
		産地	
採取年月日	令和 年 月 日	採取場所	

ふるい分け方法		ふるい分け前の試料の質量(g)			
ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)	
受皿					
合計					

粒度曲線図

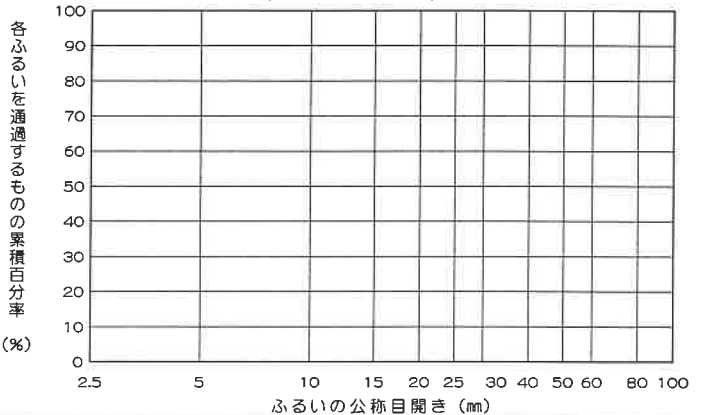


備考

試験前後の質量差(%)		粗粒率	
試験年月日	令和 年 月 日	種類	
		産地	
採取年月日	令和 年 月 日	採取場所	

ふるい分け方法		ふるい分け前の試料の質量(g)			
ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量(g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)	
受皿					
合計					

粒度曲線図



備考

試験者	岩佐 龍治
-----	-------

※試料は依頼者サンプリングの持ち込みによる。 ※試料内容は依頼者の申し込みによる。 試験責任者：谷 岡 貴 寿

